

5歳児年間指導計画

教育目標	○こどもの「自らのびる力」を育てる
具体的目標	○こどもの「やさしさ」を育てる ○こどもの「かしこさ」を育てる ○こどもの「たくましさ」を育てる

	4月～5月上旬	5月下旬～9月
こどもの育ち 〔幼児の実態〕	<p>○進級に期待する時期 ○進級に緊張する時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室や戸外の遊具などの環境や、担任が替わることで、新たな気持ちを感じる。 ・進級の期待や嬉しさをもつ一方、気負いや緊張感も見られ、行動を模索する姿がある。 ・次々と興味や移ることが多いが、次第に安定感を持って遊ぶようになる。 	<p>○遊びの興味がさらに広がる時期 ○難しいことにも挑戦してみようとする時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて一つの遊びをする。そこに友達や先生と一緒にいることで、さらに遊びが続く。 ・意欲的に体を動かし、大勢で遊び面白さや競う面白さを感じながら取り組む。 ・植物や小さな生き物などへの関心が高まり、自然とよくかわりながら遊ぶ。
めざす育ちの方向 〔ねらい〕	○年長児になったことへの喜びや期待をもち、すすんで生活していこうとする。	○自分の気付きやアイデアを大切に、友達と共有しようとする。 ○学級やグループの一人として活動することに意欲をもつ。
こどもは何を体験するの？ 〔内容〕	<p>○新しい環境に自分からかわり生活の場を広げる。</p> <p>○友達と一緒に戸外で体を動かして遊んだり、自然とかわったりする。</p> <p>○学級の友達や先生と一緒に継続した活動に取り組む。</p>	<p>○遊び方や作り方などを教え合いながら、友達と一緒に遊ぶ。</p> <p>○栽培など自然にじっくりとかかわる。</p> <p>○友達と一緒に進んで体を動かして遊ぶ。</p>
先生は何をするの？ 〔指導の方向〕	<p>○新たな人やものへのかわりが、それぞれのペースで積み重なるように、落ち着いた生活を進め、進級当初の緊張をほぐしていく。</p> <p>○入園式や子ども会に取り組む機会をつくり、年長児として年下の幼児にかかわりたいという意欲を、具体的な活動につなげる。</p> <p>○保育室や戸外遊具置き場に、4歳児末とは異なる遊具、用具を整え、進級の嬉しさを遊びの中でも実感できるようにする。</p> <p>○過ごしやすい陽気の中で、心身共にのびやかにできるように、戸外の遊びや活動を上げていく。</p>	<p>○それぞれが気付きやアイデアをもつことができるように、じっくりと遊びや活動をすすめる状況をつくる。</p> <p>○個々の好きな遊び、いろいろなグループごとの活動、学級での遊びや活動などを、多様に組み合わせることで、幼児同士の関係の深まりにつなげる。</p> <p>○この時期ならではの戸外での体験が積み重なるように、栽培活動、水遊び、自然とかかわる遊びなどを進める。</p> <p>○運動会までの過程を大切にしながら保育を展開し、学級みんなの中で力を発揮し、自信をもつことができるようにする。</p>
主な行事	入園式 年間を通じて ★始業式・終業式（学期ごと） ★子ども会（園全体で月一回）	遠足 サッカー教室 運動会

年間のねらい	○よりよい生活に向かって取り組む中で、自分の力を発揮したり、友達のよさを認め合ったりする。
--------	---

10月～12月	1月～3月
<p>○目的を共にしながら友達と取り組む時期 ○試行錯誤しながら取り組む時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いにいろいろな意見を出し、これまで以上に、じっくりと遊びを進めるようになる。 ・遊びの中で起きる様々な考えや思いのぶつかり合いも、どうにか自分たちで解決していく。 ・遊びの中で、自分なりの目標をもち、友達と一緒に取り組むことが増える。 	<p>○修了と就学に向けて自信をもつ時期 ○修了と就学に向けて不安をもつ時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の会に向けた活動の中で、意見を出し合い、意欲的に取り組む。 ・みんなの中で一緒に活動したり、力を合わせてやり遂げたりすることに、喜びを感じる。 ・修了や小学校への就学に関する話題が、会話の中に増え、具体的な生活の変化を感じ始める。
○いろいろなことに興味をもち、試しながら取り組んだり、やり通そうとしたりする。 ○生活する中で、友達と考えをよく伝え合おうとする。	○友達と相談したり分担したりしながら、すすんで遊びや活動を進めていこうとする。 ○修了や進学を感じ、いろいろな人への感謝と自分に対する自信をもつ。
○自分たちで場を整えたり、必要な物を工夫したりしながら生活する。 ○友達と目的を共にしながら、一緒に遊んだり活動したりする。 ○ものの仕組みを生かしながら遊びを進める。	○生活のいろいろな場面で、友達と同じ目的をもって活動にとりくむ。 ○音楽や動き、言葉、造形などいろいろな方法での表現に友達と一緒に取り組む。 ○園内のいろいろな人や場、ものに特にすすんでかわる。
○いろいろな友達と一緒に遊びを生み出し、進めていくことができるように、遊びの一員として加わりながら、幼児同士のかわりを支える。 ○学級のみんなと一緒に目的を共にしながら、よりよい表現をしてみようとする意欲が高まるような活動を取り入れ、継続的に取り組む。 ○入園からこれまでの体験のつながりを捉え直し、さらに遊びの中で、友達と一緒に考える姿が生まれるように働きかける。 ○体を動かして遊んだり、自然とかかわったりする姿が多く生まれるように、戸外の環境を整える。	○友達と一緒に考える過程や表現する過程を大切に、同じ目的をもつ、分担する、教え合う、じっくり取り組むといった場面をつくっていく。 ○表現の会や修了記念製作などを通じて、いろいろな表現の方法にふれることができるようにする。 ○修了について感じたり、園での自分の成長や周囲への感謝を意識したりできるように、生活の具体的な場面を捉えて働きかける。 ○幼児期のまとめの時期を、それぞれが自信をもって毎日過ごすことができるように、ゆったりとした生活の流れを保障する。
遠足（大学見学） 美術館見学	表現の会 おわかれ遠足 おわかれ会 修了証書授与式

★誕生会（クラス内で個別に） ★附属小学校4年生との交流会